

サウジアラビア経済概況 (23年3月の経済概況)

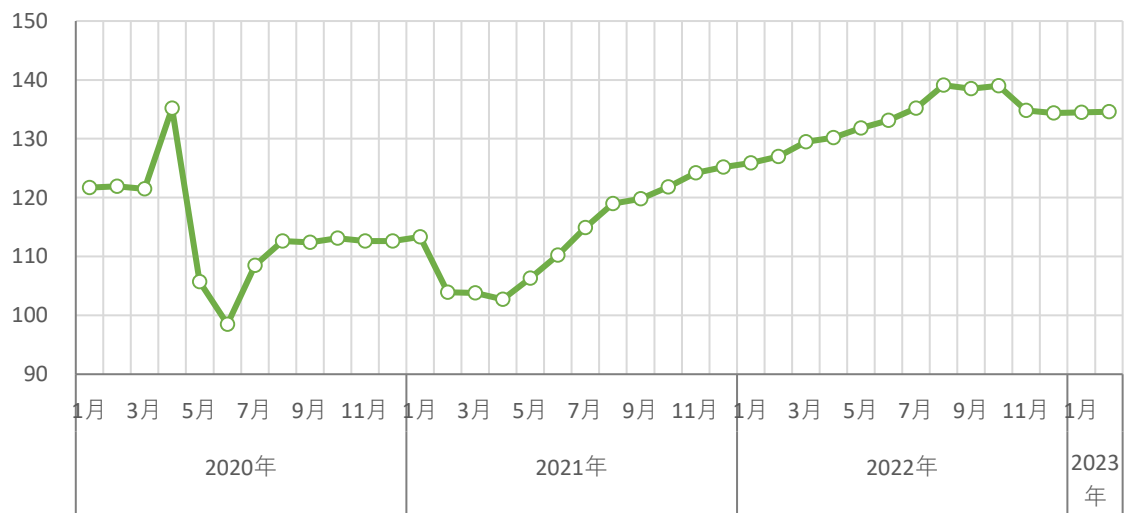
一般財団法人 中東協力センター

1. 月次経済概況 (2023年5月11日更新)

(1) 生産動向

サウジアラビア総合統計庁は2023年5月11日付で2023年3月の鉱工業生産指数 (IPI: Industrial Production Index) 月次統計を公表した。総合指数は前年同月比で+4.1%となった。74.5%のウェイトを占める鉱業・採石業が前年同月比+1.6% (前月同+2.2%) とさらに減速し、2022年10月まで二桁の増加率が続いていたIPIの上昇が停滞している。なお、4月の原油生産量は、OPECの報告では1日当たり10,461千バレルで、前月比▲3千バレルであった¹。【図1、表1】

【図1】 鉱工業生産指数 (IPI) 総合指数の推移 (2010年=100)



出典：サウジアラビア総合統計庁

【表1】 鉱工業生産指数 (IPI) の構成とウェイト (2010年=100)

	IPI 指数	前年同月比 (%)	ウェイト (%)
総合指数	134.8	+4.1%	100.0
鉱業・採石業	128.6	+1.6%	74.5
製造業	159.6	+10.5%	22.6
電力・ガス	102.7	+16.6%	2.9

出典：サウジアラビア総合統計庁

¹ OPEC “Monthly Oil Market Report January 2023”, Table5-8 <https://momr.opec.org/pdf-download/>

(2) 物価動向と消費関連指標

1. 3月の消費者物価指数（CPI）の総合指数は、前年同月比+2.7%（前月は同+3.0%）であった。2020年7月の付加価値税（VAT）引上げ（5%から15%に）の一年後（21年7月）には同+0.4%であったが、徐々に騰勢を強め、22年8月以降は同+3%前後で推移している。

大分類では、住居・水道光熱費（前年同月比+7.4%；ウェイト 25.50）、レストラン・ホテル費（前年同月比+6.3%；ウェイト 5.60）が大きく上昇している。細目を見ると、住居・水道光熱費では、分類の大半を占める実質家賃が+8.7%（前月同+8.3%）と増加している。都市別の数値を見ると、先月に引き続いてジェッダ（+24.5%）とリヤド（+12.6%）での上昇率が大きい。食料品・飲料品（+2.3%）ではミルク・乳製品・卵等（+14.1%）、食用油・油脂（+8.9%）など一部の品目が大きく上昇している。鶏肉類（生鮮品、国産冷凍品、輸入冷凍品とも）は先月に引き続き10.4%~29.7%と上昇率が高い。国産鶏卵（+24.2%）の上昇も含めて、世界的な高病原性鳥インフルエンザの流行が影響していると考えられる。【図1】

2. 3月の卸売物価指数（WPI）の総合指数は前年同月比+1.1%（前月は同+2.7%）であった。分野別に見ると、農林水産品が+3.0%（前月同+4.6%）、食品・飲料・タバコ・繊維が+5.1%（前月同+6.3%）と、他項目と比べて高い上昇率を示した。

細目では、穀物（+8.4% 前月同+8.4%）、果物（+6.3% 前月同+7.2%）、卵（+17.9% 前月同+22.2%）、肉類（+7.4% 前月同+12.0%）、油脂（+7.8% 同+12.9%）、乳製品（+18.8% 同+19.5%）等、CPIと同様、畜産物を中心に食品の上昇率が大きい。一方、金属製品・機械設備は▲1.1%（前月同+0.4%）の減少に転じ、2021年4月から約1年間10%~20%の上昇率を記録していた石油精製品は+3.8%（前月同+3.8%）で、5%以下の低い上昇幅が続いている。【図2】

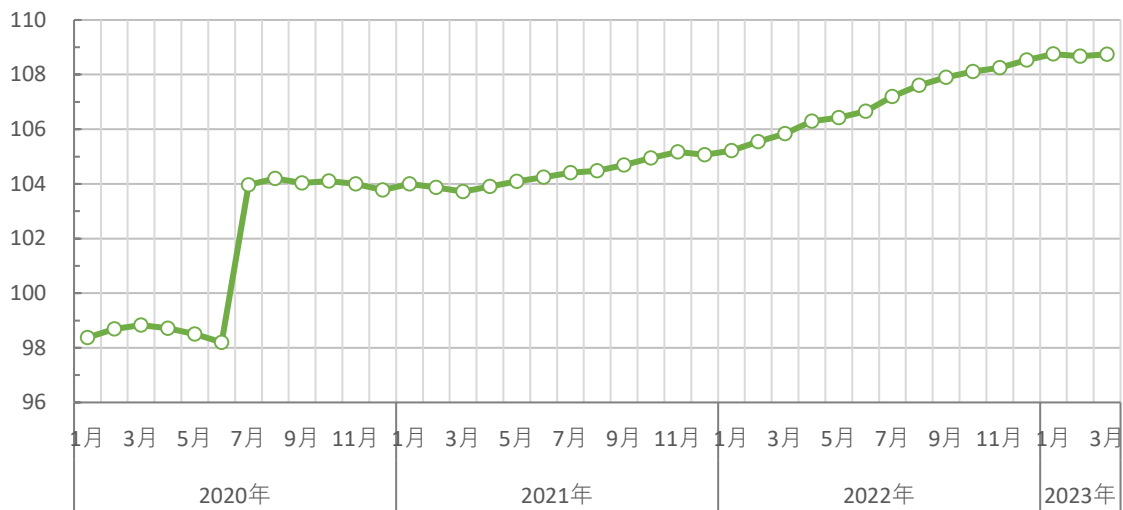
3. 3月の消費動向を、公表されている最新数値であるPOS決済データ（金額ベース²）の数値で見るとは55,413百万リヤル（前年同月比+8.7%）となった。【図3】

分野別に見ると、飲料・食料（9,387百万リヤル）は前年同月比で+14.8%で、CPIやWPIと同様、食料品に関する支出が大きく増加している。その他では運輸（2,955百万リヤル）が+14.7%、ホテル（1,477百万リヤル）は+29.8%となった。

² 報告書ではサウジアラビア中央銀行（SAMA）が公表する統計を引用しており、通貨に関しても、サウジアラビア通貨（サウジリヤル：SAR）をそのまま引用している。なお、サウジアラビア政府は自国通貨をドルに連動（ペッグ）させる為替相場管理制度を採用しており、公式為替レートは1USD=3.75SARとなっている。

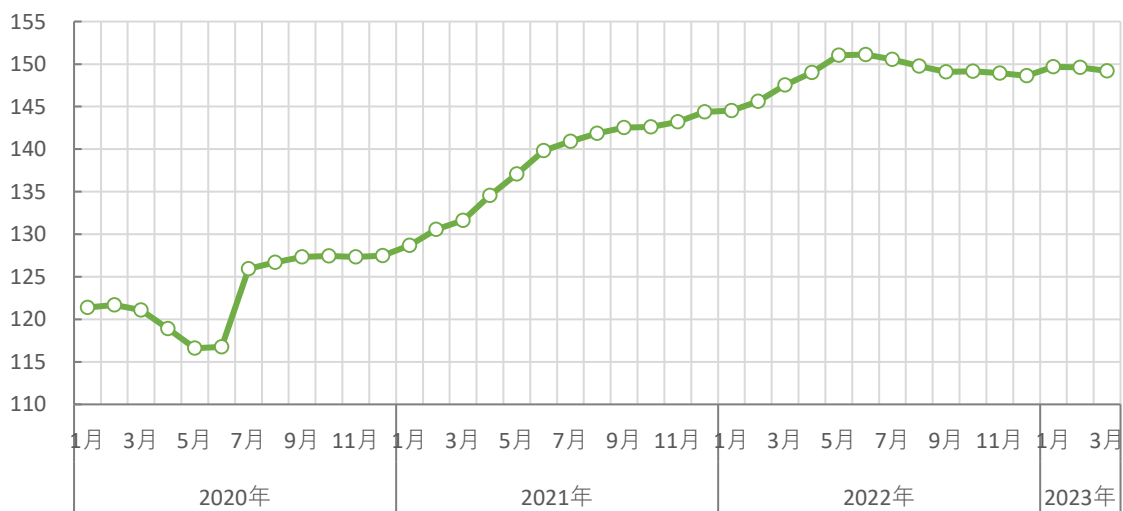
なお、サウジアラビア中央銀行（SAMA）は（Mada Card³を使用した）Eコマースの売上高も公表しており、それによれば3月のEコマース売上高は約13,503百万リヤルと前年同月比35.2%増加した。店頭販売を集計したPOS売上高と比較した比率は24.4%相当（前年同月は+25.3%相当）であった。

【図1】消費者物価指数（CPI）推移 （2018年=100）



出典：サウジアラビア総合統計庁

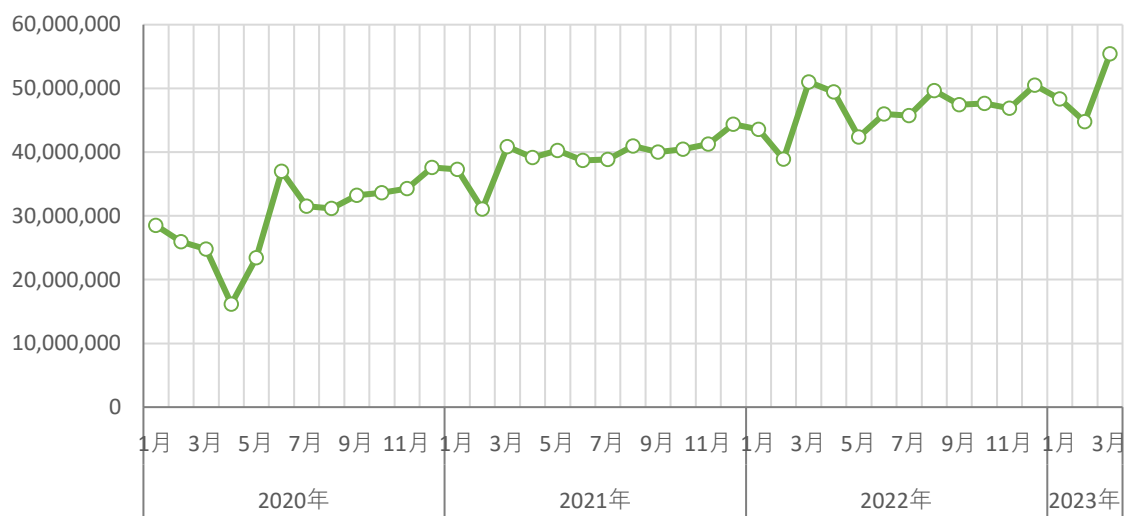
【図2】卸売物価指数（WPI）推移 （2014年=100）



出典：サウジアラビア総合統計庁

³ Mada Card は 2018 年 4 月 1 日から解禁された電子商取引時のオンライン決済手段の一つであり、サウジアラビア中央銀行が管轄している。決済方法は、デビットカードとプリペイドカードに対応しており、海外で使用する際は、Visa や Mastercard といったブランドで決済することが可能。Mada の利用により従来の POS 端末での支払いに加え消費者の利便性が高まっている。

【図3】 POS (Point of Sales) 月次売上データ (金額ベース) 推移 (単位: 1,000SAR)



出典：サウジアラビア中央銀行

(3) 金融関連指標の動き

① 政策金利

サウジアラビアはドル・ペッグ制を採用しており、金融政策は米国の動向に追随する。2018年までは米国が量的緩和からの正常化を模索しており、サウジアラビアも政策金利を上げざるを得ない環境にあった。しかし、2019年に入ってからアメリカ合衆国連邦準備銀行（FRB）の方向転換と、2020年来の新型コロナウイルス感染症蔓延下での「超」金融緩和によって、サウジアラビアも緩和的な金融環境となり、銀行間取引金利⁴（表1参照）は2021年末まで0.8%台の低位の水準が続いてきた。

しかし、米国でインフレが昂進し米国内金利が騰勢を強めていたところ、FRBは量的緩和を3月に終了し、政策金利（フェデラルファンド金利の誘導目標の上限）の誘導目標も0.25%pt引き上げるといふ政策転換を行った。以降、FRBは5月の米連邦公開市場委員会（FOMC）にて0.50%pt、6月・7月・9月・11月には4会合連続で0.75%ptずつ政策金利を引き上げた。その後、米CPIの減速に伴い、12月には上げ幅を0.50%pt、1月には0.25%ptと縮小した。3月のFOMCでは、シリコンバレーバンク破綻を契機とした米中小地銀やクレディスイスの経営危機を受けて利上げを停止するとの観測もあったが、FRBは高インフレの抑制を優先し、0.25%ptの利上げを継続した。その後も米地銀の経営破綻が続いたが、5月3日のFOMCでも0.25%ptの

⁴「銀行間取引金利（Interbank Offered Rates）」は、各国の金融市場において銀行同士が日々、短期資金（1週間～12か月）を融通し合うコール市場の基準金利で、ローン・債券・デリバティブなど多くの金融商品の参照金利や、中央銀行の金利政策における公開市場操作の指標ともなる。旧LIBOR（ロンドン）、FF金利（米国）、TIBOR（東京）、EURIBOR（欧州）が代表的で、サウジアラビアではSAIBOR（セイボー）となる。

利上げを継続し、米政策金利は 5.0～5.25%となった。この間、サウジアラビアの銀行間金利 (SAIBOR) も上昇を続け、2023 年 3 月の SAIBOR は 5.5750%と、5 か月続けて 5%を超える水準となった。【表 1】

今回の利上げにより、前回 FOMC で公表された 23 年末の米政策金利見込みの中央値 5.1%に到達した。しかし、米国の物価上昇率は目標の 2%を依然として大きく上回っており、FRB のパウエル議長は早期の利下げ転換を否定し、金融引き締めの状態を長く保つ考えを示した。米政策金利が高い水準を維持し続ければ、SAIBOR も同様に高止まりし続け、引き締められた金融環境が続くと考えられる。

② 外貨準備高

サウジアラビアの外貨準備高は、2020 年 3、4 月にかけて相当減少しているが、これは主として、公共投資基金 (Public Investment Fund) による今後の投資計画のため、総額 1,500 億サウジリヤルを準備資産から PIF に移し替えるという決定を反映したものである。以降は増減を繰り返しつつ、1,600,000 百万リヤル前後の水準で推移してきたが、2023 年 4 月の暫定値は 1,516,883 百万リヤルと減少している。【表 2】

Al-Jadaan 財務相は、2022 年 5 月 24 日のロイターの取材に対し、「サウジアラビアは、持続可能な財政を維持するために外貨準備高が GDP の一定割合を下回らないように維持することを財政の指針としている」「将来的には付加価値税 (VAT) を 15%から引き下げることにも考慮しているが、過去 5 年間で 1 兆リヤルを外貨準備から公共投資基金 (PIF) と国家開発基金 (NDF) に投じたため、今はまだ外貨準備を補充している段階だ」と述べた⁵。同年 11 月 7 日の日本経済新聞の取材でも、VAT の将来的な引き下げはありうるが、当面は過去 9 年の財政赤字で傷んだ国家財政の立て直しを優先する姿勢を示した⁶。

⁵ Saudi Gazette ”[Al-Jadaan: Saudi Arabia will ‘ultimately’ consider cutting VAT](#)”(2022 年 5 月 25 日)

⁶ 日本経済新聞 「[サウジ財務相、年内に『財政黒字転換』非石油収入が拡大](#)」(2022 年 11 月 7 日)

【表 1】 銀行間取引金利 (3M SAIBOR)

(単位：%)

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
1 月	2.2710	0.8171	0.9366	5.3813
2 月	2.1397	0.8078	1.1987	5.5283
3 月	1.3019	0.7968	1.9585	5.5750
4 月	1.2281	0.7970	2.3675	
5 月	1.1293	0.7971	2.6601	
6 月	1.0264	0.7920	3.1162	
7 月	0.9557	0.7931	2.9000	
8 月	0.9106	0.7951	3.0280	
9 月	0.8817	0.8005	3.4945	
10 月	0.8560	0.8167	4.9728	
11 月	0.8378	0.8382	5.5898	
12 月	0.8233	0.8736	5.2821	

出典：サウジアラビア中央銀行

【表 2】 月次外貨準備高

(単位：100 万 SAR)

2020 年	9 月	1,633,987
	10 月	1,630,192
	11 月	1,668,401
	12 月	1,654,419
2021 年	1 月	1,641,173
	2 月	1,608,155
	3 月	1,637,963
	4 月	1,606,616
	5 月	1,592,909
	6 月	1,624,952
	7 月	1,608,365
	8 月	1,607,046
	9 月	1,648,094
	10 月	1,592,719
	11 月	1,644,277
	12 月	1,610,614
2022 年	1 月	1,578,820
	2 月	1,558,859
	3 月	1,596,682
	4 月	1,599,904
	5 月	1,599,597
	6 月	1,657,136
	7 月	1,647,973
	8 月	1,624,060
	9 月	1,666,702
	10 月	1,650,228
	11 月	1,677,578
	12 月	1,630,800
2023 年	1 月	1,621,343
	2 月	1,603,570
	3 月	1,549,952
	4 月	*1,516,883

出典：サウジアラビア中央銀行 *暫定値

2. セクター別トピック (2023年5月9日更新)

(1) 石油分野

① 原油価格

米国エネルギー情報局 (EIA) によれば、2023年4月の平均原油価格は WTI が1バレル\$79.45 (3月\$73.28)、ブレントが\$84.64 (同\$78.43) で、前月との比較で WTI・ブレントがそれぞれ\$6.17、\$6.21 上昇した⁷。

2020年4月を底値とし、OPEC+産油国による協調減産と世界的な金融緩和の継続、更に新型コロナウイルスの感染が徐々に収まるにつれ、原油価格は上昇を続け、2022年3月には100ドルを突破し、同年6月平均価格で、WTIで\$114.84、ブレントで\$122.71のピークを記録したが、その後中国における新型コロナウイルス感染症再拡大を受けた都市封鎖などの措置により、同国石油需要の伸びが鈍化すると懸念や、インフレ抑制を目的とした米国連邦準備制度 (FRB) による利上げ等により、米国経済への影響が懸念され原油価格は下落基調に転じ、2022年8月に100ドルを割り込んだ後は70ドル～90ドルの幅で上下、2023年に入ってから概ね70ドル台で推移している。

OPEC+産油国は2022年6月以降の油価下落に歯止めをかけるべく2022年10月5日、11月以降2022年10月比で200万b/dの減産と減産合意期限の2023年12月までの一年延長に合意したが、油価は上昇傾向に転じなかったため、2023年4月2日には、5月から12月までの期間、合計116万b/dの自主的な追加減産を行なうことを発表。これにより、4月の原油価格は一時80ドルを超え、月間平均で前述のとおり対前月比で6ドル強の上昇となったが、その後油価上昇圧力は弱まり、再び80ドルを割り込む展開となっていることから、今後6月4日に開催が予定されているOPECプラス産油国閣僚級会合でどのようなアクションを取るのかに注目が集まっている。

② 原油輸出量・生産量

Joint Organization Data Initiative (JodiOil) によれば2023年2月のサウジアラビア原油輸出量は1月の輸出量765万8千バレル(b/d)から20万3千バレル減少し、744万5千バレル(b/d)であった。原油輸出 (744万5千バレル(b/d)) と石油製品輸出 (148万4千バレル(b/d)) の合計は892万9千バレル(b/d)となり、前月合計892万4千バレル(b/d)より5千バレル(b/d)の微増となった。なお、原油生産量は1,045万バレル(b/d) (前月1,045万3千バレル(b/d)) とほぼ横這いであった⁸。

③ 国内石油製品需要 (LPG/Gasolines/Kerosene/Gas-Diesel Oil/Fuel Oil)

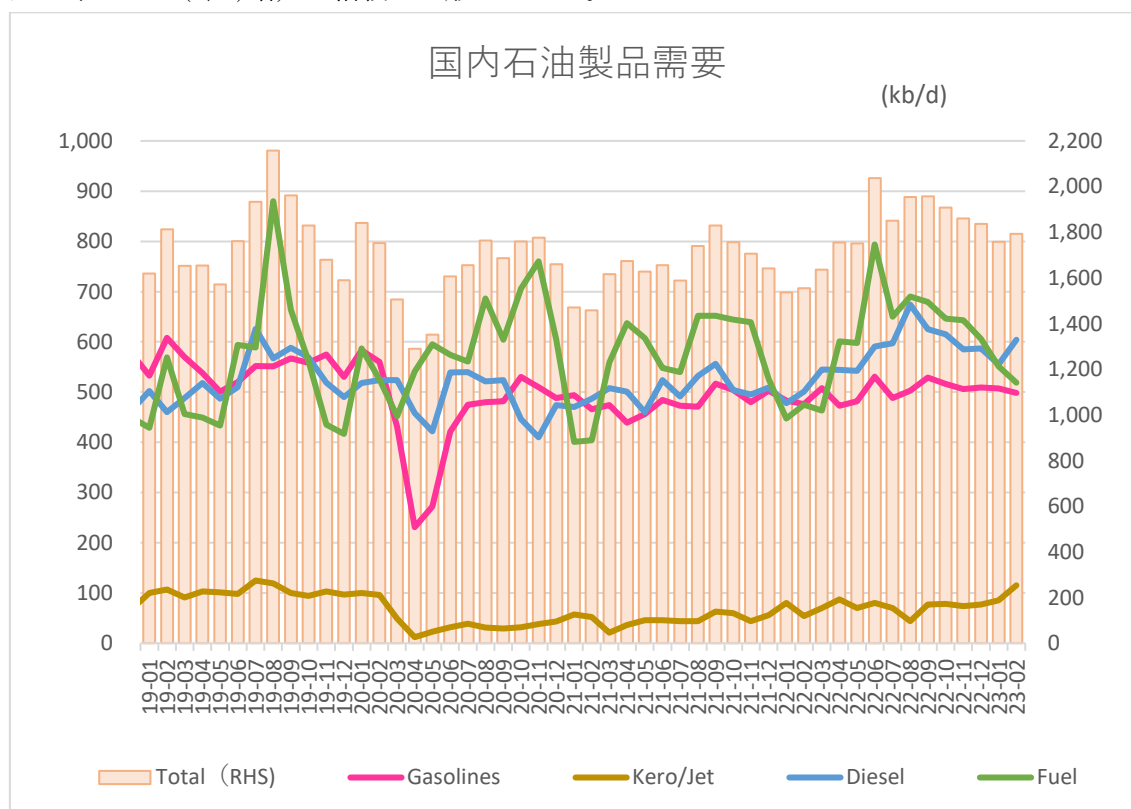
2023年2月のサウジアラビアの国内石油製品の需要は179万3千バレル(b/d)となり、前月 (175万8千バレル(b/d)) から3万5千バレル(b/d)増加した。前年同月 (155万5千バレル(b/d)) との比較では23万8千バレル(b/d)の増加となった。LPG

⁷ U.S. Energy Information Administration (EIA) https://www.eia.gov/dnav/pet/pet_pri_spt_s1_m.htm

⁸ JodiOil <https://www.jodidata.org/oil/database/country-by-country-review.aspx>

需要は5万7千バレル(b/d)となり前月値6万バレル(b/d)より3千バレル(b/d)減少した。ガソリン需要は49万8千バレル(b/d)となり前月値50万7千バレル(b/d)から9千バレル(b/d)減少した。ケロシン需要は11万5千バレル(b/d)となり前月値8万5千バレル(b/d)より3万バレル(b/d)増加した。ディーゼルの需要は60万4千バレル(b/d)（前月55万5千バレル(b/d)）と4万9千バレル(b/d)増となり、また、重油の需要に関しては、前月需要の55万1千バレル(b/d)に対し2月は51万9千バレル(b/d)と3万2千バレル(b/d)減少した。

2020年2月以降合計180万バレル(b/d)をずっと下回ってきた国内石油製品需要の回復ぶりは、以下グラフを見ても明らかで、200万バレル(b/d)を超えた2022年6月以降、足元まで概ね180万バレル(b/d)以上で推移している。12月、1月、2月の冬場の国内石油製品需要を見ると、3ヶ月平均で、2年前は153万バレル(b/d)、1年前が157万8千バレル(b/d)であったのに対し、直近では179万6千バレル(b/d)と底堅く、新型コロナウイルスの影響から脱したことが、ここからもはっきり窺える。2023年2月に限って見ると、重油の落ち込み（前月比3万2千バレル(b/d)減）をディーゼルの需要増（4万9千バレル(b/d)増）で相殺した形となった。



出典：JodiOil、OPEC Monthly Oil Market Report

(2) 水分野

① 主要プロジェクトの状況

現在入札関連の情報がある IWP (Independent Water Plant)の状況は表 1 の通り。

【表 1】 現在進行中の新規 IWP の状況

更新日	プロジェクト名	造水量 (m ³ /日)	COD (年)	状況
2023/04/20	Jazan 1 IWP	300,000		National Center for Privatization & PPP が 2036 年 3 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/13	Rabigh 4 IWP	600,000	2026	25 年間の BOO 契約。ACWA Power/HAACO/Almoayyed からなる企業連合が SWPC との売買契約に署名した。平均価格は SAR1.7162/m ³ (\$0.46/m ³) であるとみられる。
2023/04/06	Ras Al-Khair 3	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2024 年 4 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Ras Al-Khair 2	600,000		National Center for Privatization & PPP が 2024 年 2 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Shuqaiq 4 IWP	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2025 年 7 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Rayyis 2 IWP	300,000		National Center for Privatization & PPP が 2035 年 6 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Tabuk 1 IWP	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2025 年 3 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Rabigh 5 IWP	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2027 年 4 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/1/26	Jubail 4 & 6 IWP	600,000		入札参加資格申請が 2023 年 2 月 21 日締切にて発行された。2023 年 1 月時点では下記 35 社が関心を示している。1) Abengoa; 2) Acciona; 3) ACWA Power; 4) Ajlan & Bros; 5) Al

				<p>Kawther Industries; 6) Al Shalawi; 7) Al Sharif Group; 8) Alfano; 9) Alghanim International; 10) Aljomaih; 11) Awad Saad Binzafrah Contracting; 12) Buhur for Investment; 13) China First Heavy Industries International; 14) Elecnor Group; 15) Engie; 16) Fas Energy; 17) Fisia; 18) GS Inima; 19) Hainan Litree; 20) Kindasa; 21) Lantania; 22) Marafiq; 23) Marubeni; 24) Metito; 25) Mowah; 26) Nesma; 27) Orascom; 28) Saleh Saeed Taishan and Sons; 29) Saudi Pan Kingdom Company; 30) Shapoorji Pallonji; 31) Taqa; 32) Utico; 33) VA Tech Wabag; 34) Veolia; 35) Vishvaraj Environment。KPMG (財務、情報)、Eversheds Sutherland (法務)、WSP (技術) で構成されるアドバイザーチームがプロジェクトについてクライアントにアドバイスしている。</p>
2023/01/06	Jafurah desalination project	80,000		<p>Mowah(開発)と Lamar Holding(投資)からなるチームが契約を獲得した。中国企業の SEPCO は EPC 請負い、海淡エレメントの納入も行うとみられている。また三井住友銀行は、本件を含む独立した公益事業スキームについて Aramco に助言している。</p>
2022/12/6	Ras Mohaisen	300,000	2026 Q3	<p>RFP (提案依頼書) が発行された。参加承認企業は下記 10 チーム。 1) Acciona; 2) ACWA Power; 3) Aqualia; 4) Cobra; 5) Engie; 6) Malakoff/Kindasa; 7) Marafiq/Alfano; 8) 丸紅; 9) Rawafid; 10) Utico/Mowah。KPMG (財務、情報)、Eversheds Sutherland (法務)、WSP (技術) で</p>

				構成されるアドバイザリーチームがプロジェクトについてクライアントにアドバイスしている。
2022/6/20	Neom IWP	333,000	2025	NEOMの子会社であるENOWAは、Veolia・伊藤忠商事との間で、OXAGONに50万m ³ /dの淡水化プラントを建設するための覚書に署名した。プラントは再生可能エネルギーを動力源とし、排出された塩水からはZLD（無排水化）処理により鉱物資源を回収する。プロジェクトの完了は2025年の予定。三井住友銀行（情報、財務）、Worley Parsons（技術）、Linklaters（法務）らが、クライアントにプロジェクトについてアドバイスしている。
2022/05/19	Khobar 3 SWRO	545,000		2023年第一四半期にEPC契約につき入札実施されるものとみられている。
2022/05/19	Shoaiba 6 SWRO	545,000		2022年第二四半期にEPC契約につき入札実施されるものとみられている。
2022/05/19	Yanbu 2 SWRO	500,000		2023年第一四半期にEPC契約につき入札実施されるものとみられている。

出典：Global Water Intelligence

② 水関連ニューストピックス

➤ SWCC awards Jubail contracts to De Nora and Yokogawa

イタリアのIndustrie De Noraと横河電機はそれぞれ、Jubail海淡プラントの第2フェーズに技術と機器を供給する契約をSWCC(Saline Water Conversion Corporation)と結んだ。

[2023/04/27 Meed \(有料会員限定\)](#)

➤ Saudi's Alkhorayef Water and Power Technologies bags \$431mn deal to upgrade Riyadh's sewage plants

Alkhorayef Water and Power Technologies (AWPT) はリヤドのManfouhaにある3つの下水処理場のO&M契約をNWCより16.2億リヤル(431百万ドル)で獲得した。

[2023/04/27 Utilities](#)

➤ **Red Sea Global selects team for Amaala utilities**

Red Sea Global は、紅海沿岸 4,155 平方キロメートルに及ぶ Amaala 観光計画向けのマルチユーティリティインフラ開発にて、UAE の Masdar とフランスの EDF International で構成されるチームと契約したとみられる。

プロジェクトの範囲は以下の通り。

- ・ 146MW の太陽光発電所
- ・ 最大容量 58 千 m³/日の RO 海淡プラント
- ・ 容量 7,250m³/日の下水処理場
- ・ 配電および送水ネットワーク

昨年 8 月時点では下記のの企業 (チーム)が入札に参加していた。

Acwa Power (サウジアラビア)

Alfanar (サウジアラビア)

Masdar (UAE) / EDF(フランス)

[2023/04/24 Meed \(有料会員限定\)](#)

➤ **Saudi Arabia awards \$677m Rabigh 4 deal**

Acwa Power を中心とする企業連合は Rabigh 2 IWP の開発とオペレーションに向け、オフテイカーである SWPC (Saudi Water Partnership Company)と 25.454 億リヤル (677 百万ドル)相当の水購入契約に署名した。

[2023/04/13 Meed \(有料会員限定\)](#)

➤ **Saudi National Bank and Japan's JCB International sign new partnership agreement**

電子決済サービスの開発に向けた継続的な取り組みの一環として、サウジ・ナショナル・バンク(SNB)と日本の JCB はサウジ全土で 306,351 台の POS と 3,088 台の ATM で JCB カードを受け入れることに合意した。

[2023/04/13 ARAB NEWS](#)

➤ **ACWA Power to Develop \$677 Mln Desalination Project in Saudi Arabia**

ACWA Power は、容量 600 千 m³ の Rabigh 4 IWP の水購入契約を締結した。約 25.4 億リヤル(677 百万ドル)に上るこのプロジェクトからはラマダンとメッカ巡礼シーズンに毎年需要が急増するメッカとマディーナ地域にサービスを提供する。

[2023/04/13 ASHARQ AL-AWSAT](#)

➤ **dmg events launches Saudi Water Expo**

展示会主催者の dmg event は、今年 9 月 11 日～13 日の日程で Riyadh International Convention Center にて Saudi Water Expo を開催すると発表した。

[2023/04/12 Exhibition World](#)

➤ **Saudi Arabia launches 200 projects across 17 industries**

NCP(National Center for Privatisation)は、17 のセクターにまたがる 200 ものプロジェクトを立ち上げると発表した。この中には 4 ケ所の空港、7 ケ所の海淡プラント、6 ケ所の下水処理プラント、10 ケ所の戦略貯水プロジェクトが含まれる。

[2023/04/11 Oil&Gas](#)

➤ **Saudi Arabia announces new water projects**

サウジ政府は先週、海淡、送電、戦略的貯水池、廃水処理といった多数の水関連のプロジェクトを発表した。総投資額は 145.8 億ドルに上るとみられる。サウジでは PPP を活用した水インフラ開発が続いており、引き続き世界最大の海淡市場となっている。

[2023/04/10 Energy & Utilities](#)

➤ **National Water Company - NWC and MAEE sign an MoU to rationalize water**

NWC(National Water Company)と MAEE(National Water Efficiency and Conservation Center)は水源の効率的な運用のための専門知識を両者で共有するべく MoU に署名した。

[2023/04/08 NWC Web サイト](#)

➤ **Saudi's Keir wins \$6.45mln contract to connect water purification plants**

Keir International は Heet 浄水場と Al Kharj 地域のステーションをつなぐ 24.19 百万リヤル(645 百万ドル)の契約を結んだと発表した。

[2023/04/06 ZAWYA](#)

➤ **Saudi Arabia offers 6 PPP wastewater projects**

PPP による 6 件の下水処理プロジェクトの Build-Own-Operate-Transfer(BOOT)契約の入札が発表された。

ISTP – Hadda (Makkah)

容量: 250,000 m3/日

契約期間: 未定

入札予定: 2024 年 4 月

ISTP – Uranah (Jeddah)

容量: 250,000 m³/日

契約期間: 未定

入札予定: 2024 年 4 月

ISTP – South Najran (Najran)

容量: 50,000 m³/日

契約期間: 25 年間

入札予定: 2024 年 8 月

ISTP – Abu Arish 3 (Abu Arish)

容量: 50,000 m³/日

契約期間: 25 年間

入札予定: 2024 年 12 月

ISTP North Jeddah 1 (Jeddah)

容量: 50,000 m³/日

契約期間: 25 年間

入札予定: 未定

小規模処理プラント (SSTPs) および下水道 (北部)

容量: 143,000 m³/日

契約期間: 25 年間

COD: 2025 年 7 月

[2023/04/06 ZAWYA](#)

➤ **Saudi Arabia offers seven PPP desalination projects**

PPP による 7 件の IWP プロジェクトの入札が発表された。これらは 25 年間の Build-Own-Operate(BOO)契約となる。

IWP Ras Al Khair 2 (Ras Alkhair)

容量: 600,000 m³/日

入札予定: 2024 年 2 月

IWP Ras Al Khair 3 (Ras Alkhair)

容量: 400,000 m³/日

入札予定: 2024 年 4 月

IWP Tabuk (Tabuk)

容量: 400,000 m³/日

入札予定: 2025 年 3 月

IWP Alshuqaiq 4 (Alshuqaiq)

容量: 400,000 m³/日

入札予定: 2025 年 7 月

IWP Rabigh 5 (Rabigh)

容量: 400,000 m³/日

入札予定: 2027 年 7 月

IWP Rayis 2 (Rayis)

容量: 300,000 m³/日

入札予定: 2035 年 7 月

IWP Jazan (Jazan)

容量: 300,000 m³/日

入札予定: 発表なし

[2023/04/05 ZAWYA](#)

➤ **Saudi Arabia to tender 10 new PPP strategic water reservoir projects**

PPP による 10 件の Independent Strategic Water Reservoir (ISWR) の入札が発表された。これらは 35 年間の BOOT 契約となる。

ISWR Jeddah (Jeddah)

容量: 5,000,000 m³

入札予定: 2024 年 3 月

ISWR Asir (Asir)

容量: 5,220,000 m³

入札予定: 2026 年 3 月

ISWR Makkah (Makkah)

容量: 8,000,000 m³

入札予定: 2027 年 1 月

ISWR Tabuk (Tabuk)

容量: 735,000 m³

入札予定: 2027 年 3 月

ISWR Al Qassim (Al Qassim)

容量: 1,011,000 m³

入札予定: 2027 年 8 月

ISWR Najran (Najran)

容量: 1,595,000 m³

入札予定: 2027 年 8 月

ISWR Jazan (Jazan)

容量: 4,460,000 m³

入札予定: 2028 年 3 月

ISWR Al Madinah (Al Madinah)

容量: 6,439,000 m³

入札予定: 2029 年 3 月

ISWR Riyadh (Riyadh)

容量: 2,873,000 m³

入札予定: 2029 年 3 月

ISWR – Al Baha (Al Baha)

容量: 1,000,000 m³

入札予定: 2029 年 3 月

[2023/04/05 ZAWYA](#)

➤ **ACWA Power obtains Jazlah Water Project operation certificate**

ACWA Power は、40.2%所有している Jazlah Water Desalination Co.の商業運転証明書
書を SWPC より受け取ったと発表した。

[2023/04/09 Argaam](#)

③ ギガプロジェクト関連

➤ Saudi Arabia transfers 4% of Aramco shares to Sanabil Investments

4月16日(日)、ムハンマド皇太子は政府が保有するアラムコ株のうち発行済株式の4%をPIFの100%出資子会社 Saudi Arabian Investment Company (Sanabil Investments) に移管したことを発表した。皇太子は“株式の移管はビジョン2030に沿って国家経済の強化・多角化、投資機会の拡大を図るものでPIFの財務体質と信用格付強化にも寄与する”と述べた。株式移管後の政府保有分は90.18%となる。

[2023/4/16 Saudi Gazette](#)

➤ Work to start for \$1.5bn Oxagon wind turbine plant

サウジ企業 Vision Industries (Abunayyan Holding と Al-Muhaidib Group のJV子会社) と中国企業 Envision 社が共同で NEOM の Oxagon に建設を計画している風力発電用タービン製造施設の建設工事が今年末までに開始される見通し。推定投資額は15億ドル。2025年第1四半期までの生産開始を目指している。

[2023/4/19 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ Neom advances plans to be leading movie destination

2022年9月にオープンした NEOM の Media Village ではテレビや映画製作用のスタジオなど撮影施設の増設を進め MENA 地域での番組制作ハブ化を目指している。現在、Media Village には撮影施設4カ所がありさらに6カ所の増設を計画している。

[2023/4/18 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ Diriyah in deal to develop premier Saudi tourism destinations

リヤド郊外のサウジアラビアの地デイルイーヤのツーリズム開発を進める Diriyah Company (旧称 Diriyah Gate Development Authority) はアジアや欧米での高級リゾートホテルチェーン事業を展開する Aman Group と提携しデイルイーヤでの超高級リゾートホテル・住宅開発を行う。

[2023/4/27 ZAWYA](#)

➤ Al-Rumayyan: PIF manages assets worth over SR2 trillion

ビジョン2030開始7周年に際してPIFのAl-Rumayyan 総裁は“2019年以来PIFが出資設立した国家戦略上重要な新会社は71社にのぼりPIF管理下の資産額は2兆リヤルを超えている”と述べるとともに今後180万人の雇用創出と国内新規プロジェクトに1兆リヤルの資金を投入し2025年までに非石油部門のGDP1兆2千億リヤルとPIF資産4兆リヤルを目指す考えを明らかにした。

[2023/4/29 Saudi Gazette](#)

3. ビジネス環境トピック（2023年5月8日更新）

新型コロナウイルス感染状況（2023年5月8日）

行動制限に関する新たな情報はなし。

現在、サウジへの渡航に際し、コロナ検査陰性証明書及びワクチン接種証明書の提出は不要となっている⁹。

5月5日、WHOのテドロス事務局長は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了すると発表した。併せて、サウジアラビア保健省から発表されていた感染者数等の発表は5月4日報告分をもって終了した。

以上

⁹ 在サウジアラビア日本大使館ホームページ https://www.ksa.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html